

事務事業名		道路台帳統合事業		所属部	建設部	所属課	業務管理課					
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	維持管理G	課長名	小川 浩平					
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1061					
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活意図	市内を安全に移動できる。			(内線)	3732					
	対象	道路(市道)		予算科目	会計	款	大事業	大事業名				
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理			0	1	4	0	2	中事業	道路橋梁総務管理事業	
	目的	対 道路利用者	意図 安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。		1	0	0	5	0	9	中事業	道路台帳統合事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度 ~ 27 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
旧町ごとに異なる様式の道路台帳が存在するため、台帳の統一化と、紙ベースから電子化に向けた業務委託を実施。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) 道路台帳統合及び電子化業務委託	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 道路台帳統合及び電子化業務委託				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	ア	道路台帳管理システム導入	台		7	-	-
	イ	地形図データ作成(MD)	km		-	86.0	95.5
	ウ	数値図化・数値編集	km		-	251.8	567.9
	エ	台帳図データ作成、調書データ生成	km		-	514.5	663.3

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	生活道路の利用者	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
			ア	人口【国勢調査(推計)】	人		40,055	39,472	39,458
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	市内の道路情報を得てもらう	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
			ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%		55.4	58.0	56.0
			イ	数値図化・数値編集	km		-	251.8	567.9
			ウ	台帳図データ作成、調書データ生成	km		-	514.5	663.3

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
・道路台帳統合及び電子化業務委託 34,560千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		30,708	34,560	24,800
	事業費計(A)	千円		30,708	34,560	24,800
	人件費	人		2	2	
	正規職員従事人数	時間		300	300	
	延べ業務時間	千円		1,168	1,166	
	人件費計(B)	千円		31,876	35,726	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併時は、旧町ごとに道路台帳様式が異なるため、仕様内容が同一な区域毎に委託していたが、業務の効率化、精度の改善、質的改良の観点から、道路台帳を統合する。	旧町ごとに異なる様式の道路台帳の統一化と、紙ベースから電子化することで、業務量の縮減等を図る。	県市町村課、雲南市財政課より、交付税算定のための数値集計の際、旧町単位で道路台帳様式が異なっており、様式の統一が求められている。この道路台帳様式を、本事業により統一化する。

事務事業名	道路台帳統合事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一することにより、統一後の成果の向上が見込まれる。 ・GISを導入することで、道路台帳図面管理、調書管理を行い、委託業務費削減や業務量の軽減が図れる。 	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市道管理の基となる台帳が未整備となる。 ・交付税算定根拠を失う。 ・市道の管理上、法律上の定めからも廃止できない。 ・効率的な事務執行が不可能となる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		・統合、連携できる類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・GISを導入することで、道路台帳図面管理、調書管理を行い、委託業務費削減が図れる。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一することにより、統一後の業務量の縮減が見込まれる。 ・GISを導入することで、道路台帳図面管理、調書管理を行い、人件費削減が図れる。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・受益者は、不特定の道路利用者であり公平・公正である。 ・受益者負担はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一することにより、統一後の成果の向上及び業務委託経費の縮減が見込まれる。 ・平成25年度より道路台帳統合及び電子化業務に着手した。 ・GISを導入することで、道路台帳図面管理、調書管理を行い、委託業務費削減や業務量の軽減が図れる。 		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> ・旧町村ごとに異なる道路台帳様式を統一する。 ・統合型GISを導入することによって、業務の効率化、精度の改善、質的改良、迅速な処理、地理情報の共有化や膨大な量の図面保管スペース削減などが図れる。 ・平成27年度で本事業は完了し、道路台帳を更新することとなるが、適正な管理及び運営等のマニュアル作成を行い、有効活用と事務効率を図ることが重要である。 	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		